



武田双雲



【スペシャル・インタビュー】

# 先駆者たち

Interviews with Today's Pioneers

Vol.14

～「時代のパイオニア」たちに聞く～

世の中の価値基準から抜け出し、  
目の前のことに感動しながら生きる

# 武田双雲

Soun Takeda

日本を代表する書道家のひとり、武田双雲氏。「ポップソングのようにみんなと一緒に楽しめる書を書きたい」。そう語る彼の作品は、独創的ながらも読みやすく、ポジティブな温もりにも溢れている。

## 自分が変われば、相手も変わる

大学を卒業し、NTT東日本に就職。順調な人生を歩んでいた武田氏に転機が訪れたのは、社会人2年目のことだった。「仕事の新鮮さも減ってきて、「このままだと人生がつまらなくなりそう」と不安がよぎったんです。それまでは流されながら生きてきたんですが、人生ではじめてスイッチが入った。とにかく自分がワクワクするようなことをやろう。会社のせいにはせず、積極的に楽しむ工夫をしてみようと思いついたんです」。

そこで思いついたのが3歳から習っていた書道。デスクで墨を擦り、メモ書きを筆で書いてみた。

「上司には怒られましたが、同僚からは『上手だね』と声を掛けてもらった。ずつとずつの上がない存在だったのに、はじめて注目を浴びた気がしました。名前を書いたら涙を流して喜んでくれた人もいて、これだと思っただけです。『世界中の人の名前を筆で書こう！』。そう閃いた瞬間、無意識に『辞表』という文字を書いています」。

独立を決心した日の帰り道、路上で演奏するサクソフレイヤーに出会った武田氏は、次の日には彼の隣にゴザを敷き、ストリート書道をはじめた。まだ誰もそんなことをやっていない、2000年頃の話だ。

「最初は恥ずかしくて顔も上げられませんでした。とにかく毎日いろんな街の路上に座ってみました。『あなたの好きな文字を書きますよ』という感じです。お金にはならなかったけど、学ぶことは大きかったですね。それは、自分が変わると来る人も変わる、ということ。つまらないなと思っているとつまらないことが起きるし、好きと思っていると好きが返ってくる。自分の心が鏡のように跳ね返ってくるんです。だから、まず自分の感情を安定させ、上機嫌で生きること。そういう思いが深まっていきました」。

## 楽しむことが、絶対的な基準

ストリートでの活動を自身のホームページで発信していると、雑誌、ラジオ、イベント、テレビなど、各方面から声を掛けてくれる人たちが現れた。特にテレビでは出演した番組が高視聴率を叩き出すなど、多くの人が書道家・武田双雲の作品や生き方に共鳴しはじめていた。おのずと題字やロゴなどの大きな仕事も舞い込んでくるようになる。

「僕の仕事は、お墓や表札といった個人的なものもあれば、社運をかけた新商品ロゴなどもあります。個人であれ企業であれ、皆さん人生をかけて依頼してくれているのは一緒。だからどんな仕事にかかわらず、すべて同じ心構えで書いています」。

内容を判断したり解釈したりするのはなく、目の前のことに感動し、喜び、楽しみながら書くこと。独りよがりにならず、相手にも一緒に楽しんでもらうこと。究極のポップソングのように、いろんな価値観を持った人と一緒に、良い感覚になりたいたいと思っています。あと、こんなにも相対的で曖昧な世の中ですから、100%評価されるなんてことはまずありません。だったら競争や評価といった価値基準から抜け出し、ただただ深く楽しむのみ。楽しむ」という絶対的な基準を自分の中で決めてしまえば、毎日楽しいので最強ですよ(笑)。

武田氏のポジティブで自由な人柄のせいか、書道以外でも多くの人を惹きつけてやまない。著作の仕事は50冊を超え、今年自身プロデュースするオーガニックカフェ「地球」を鶴沼海岸にオープンした。

「友人にオーガニックのプロのような人がいて、彼の料理が本当に美味しい。それならカフェをやってみようということに

なっただんです。その友人とは毎年一緒にアメリカ西海岸に行っていて、今度はその流れで西海岸に移住してみようかなと思っっています。海外で何をやるかは行っから考えます。予想がつかないからおもしろいですよね。人生がまたストリートからはじまるというか、ゼロから新しいステージがはじまりそうです」。

ただで・そうん  
1975年、熊本県生まれ。3歳から書家である母・双葉に師事。NTT東日本に勤務した後、2001年1月より書道家として活動開始。NHK大河ドラマ「天地人」、スーパーコンピュータ「京」など数多くの題字やロゴを手がける。TVや講演会、イベント、セミナーなどメディア出演も多数。著作は50冊以上におよぶ。2017年には自身がプロデュースするオーガニックカフェ「地球」をオープン。書道教室「ふたばの森」を主宰し、約300名の門下生に指導を行なっている。  
武田双雲 公式HP  
<https://www.souun.net/>



## Contents

- 02 スペシャル・インタビュー【先駆者たち】  
**武田双雲**  
(書道家)
- 04 Special Feature  
**Kawasaki Roboticsの50年**  
～ものづくり革新の旗手として～
- 09 【EpochMaker】  
雪国に安心と安堵を届ける  
**ロータリー除雪車**
- 10 【TechnoBox】  
新時代のエネルギー供給を支える  
**水素液化システム**
- 12 【川に見る・日本の四季】  
信州から「秋」を追う
- 14 HOT TOPICS  
【表紙】  
Kawasaki RoboStageの「duAro」  
→詳しくは「Special Feature」(4ページ)をご覧ください